



ジェネックス今月のトピックス♪



9/3の日経より、

「資金の使い道を環境関連の事業に絞った「環境債」の発行が増えている。2017年は世界の発行額が初めて1000億ドル(11兆円)を超える見通しです。昨年より25%ほど増えている」ところで、環境債で調達した資金はいったいどういった形で使われるのでしょうか？

リサーチすると・・・

《地球環境債のプロジェクト一覧》

- ・再生可能エネルギー事業: 太陽光・風力・水力等
- ・持続可能な生活事業: 森林保護・持続可能な農業等
- ・環境サービス事業: 省エネの交通網等
- ・エネルギー効率化事業: 効率的な送電網・断熱等



この業界はまだまだ注目されるかもしれません。

「環境債」とは、地球温暖化防止や生物多様性保全などの環境対策事業のために発行される債券です。



米GoogleがAIによる分析で太陽光設置状態をみえる化する、「Data Explorer」という新機能を発表しました。2015年より同社が行っていたサービス「Project Sunroof」への追加機能という事です。

「Project Sunroof」は住宅の住所を入力することで、その屋根に太陽光を設置した場合の発電量等を調べ、自宅に太陽光を設置するべきか判断することができます。今回追加された「Data Explorer」の新機能により機械学習技術と「Google Maps」、「Google Earth」の画像データを組み合わせ、自動で地図上で太陽光パネルを設置してある屋根を表示します。

さらに、地域における太陽光パネルの導入数等の情報を知ることが可能になります。6月12日現在、全米で約70万世帯の太陽光パネル導入を確認しており、今後さらに多くの設置を確認できるように精度を上げていと考えています。

この機能で地域単位で再生可能エネルギーや環境問題への意識が高まるといいですね。



本部をフランスに置く「21世紀の再生可能エネルギーネットワーク」の調べによりますと、2016年度末における日本の再生可能エネルギー供給量が累計4280万kWを超えたとのことです。世界でみた再生可能エネルギー供給量は7000万kWを越える中国が圧倒的1位です。これまで2位はドイツでしたが、今回の調べで日本がドイツを抜いて2位につけました。



530(ごみゼロ運動)発祥の地、豊橋市の取り組み

愛知県豊橋市は、2017年10月から稼働する国内最大規模の複合バイオマス設備(同市神野新田町)を公開したとの事です。生ごみや下水道汚泥などをメタン発酵して取り出したバイオマスで発電する他、発酵後の汚泥を炭化燃料として利活用する。一般家庭換算で約1890世帯分に相当する電力を発電するそうです。10月からの運転開始に先駆け今年4月から生ごみの分別収集を開始しており、ごみだったものをエネルギーに変えるという新しい取り組みを環境に対する新しい時代を切り開く施策として、530(ゴミゼロ)運動発祥の地である豊橋らしく、行政と民間、市民が一緒に行っていくとの事です。



※地代や賃借料の払い忘れにお気を付け下さい※

「ジェネックス通信」毎月1回発行 「いつでもお問い合わせください。」

株式会社ジェネックス 〒447-0871 愛知県碧南市向陽町4丁目79番地ウィルビル3F TEL:0566-91-4131 FAX:0566-91-4139